

横浜国立大学と神奈川県内広域水道企業団は包括連携協定を締結

令和 4 年 6 月 17 日

国立大学法人横浜国立大学

特別地方公共団体神奈川県内広域水道企業団

国立大学法人横浜国立大学(学長 梅原 出 以下:横浜国立大学)と特別地方公共団体神奈川県内広域水道企業団(企業長 黒川 雅夫 以下:企業団)は、令和4年6月16日付けで、包括連携協定を締結いたしました。

横浜国立大学は、日本で11例目(うち1件は非継続)のユネスコチェア*1 に選定され、SDGsの推進に向けて、水源林の持続的な利用・保全や持続可能な水道システムの確立に係る研究・教育を進めています。

一方、企業団においても、今後も良質な水資源を守り、県民・市民の皆様へ安定した給水を行っていくため、最適な水道システムの実現*2 に向けた取組みを進めています。

今後、水源保全や水道事業の持続の面で、事業展開の方向性を同じくする双方が、互いの知見・施設等の経営資源を活用して事業を推進し、その成果を社会へ還元していきます。

■ 連携協力事項と今後の主な取組みの内容(予定)

- (1) 水資源保全と安定供給に資する研究の推進に関すること
 - ・ SDGs 関連テーマ等(脱炭素化など)に係る共同研究(共同事業)の推進
- (2) 教育及び人材育成に関すること
 - ・ 相互出張講座の実施
 - ・ 大学 SDGs 教育プログラムの推進
 - ・ 企業団インターンシップの推進
- (3) 地域社会や環境への貢献に関すること
 - ・ 水道への理解促進
 - ・ 大学ユネスコチェア事業の推進



梅原学長と黒川企業長



出席者全員での記念撮影

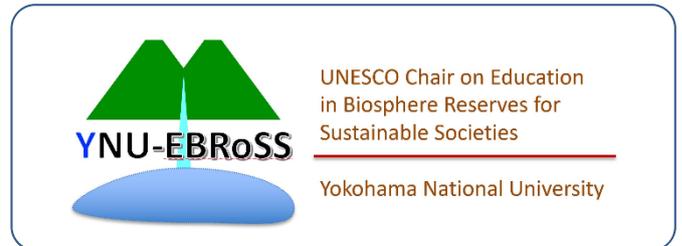
【横浜国立大学(YNU)】

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に昭和29年に新制大学として設立した総合大学で、横浜市保土ヶ谷区常盤台のワンキャンパスに5学部・6大学院を有しています。「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを憲章として宣言しています。

URL: <https://www.ynu.ac.jp/>

※1 ユネスコチェア(UNESCO Chairs)

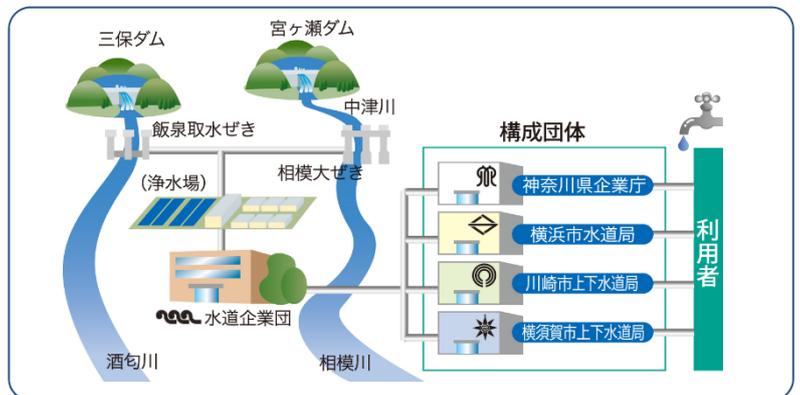
知の交流と共有を通じて、高等教育機関及び研究機関の能力向上を目的とするプログラム。横浜国立大学のユネスコチェアの目的は、より持続可能な社会の実現に向けて、生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)における持続可能な開発のための教育(ESD)に関する研究、研修、情報、資料の統合システムを構築することです。



【神奈川県内広域水道企業団】

企業団は、神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市を構成団体とする「特別地方公共団体」です。年間供給水量(令和2年度実績)は4億7730万m³で全国3位であり、三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給しています。

URL: <https://www.kwsa.or.jp/>



※2 最適な水道システムの実現

水道事業では、人口減少等による水需要の減少、施設の老朽化に加え、自然災害や脱炭素化といった新たな課題への対応など、取り巻く情勢は一層厳しさを増しています。こうした状況を踏まえ、企業団と構成団体水道事業者は、「適切なコスト」であることを前提として、「適切な規模」「健全な施設」「安全・安定供給」「低環境負荷」の4つの要素を備えた「最適な水道システム」の実現に向け連携して取り組んでいます。また、用水供給事業を担う企業団は、水源により近い水道事業者として、水源保全の取組みも推進しています。

この件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 産学・地域連携課長 潮(うしお)
TEL: 045-339-3073

神奈川県内広域水道企業団 総務部企画調整課長 入江
TEL: 045-363-2542(直通)